

ごあいさつ

昔、その昔。天平の時代、時を報せる鳥が美しい声を山々に響き渡らせば、白い花はまるで雪のように咲き、そしてその白きままに散り落ちたことでしょう。

私が奈良へ移住して来て十年が過ぎました。
古都への憧れだけで住みついたものの、
多くの方々に助けていただき不自由なくやって来れました。

奈良町で琥珀を開業して三年が過ぎました。
これから心持ち新たに、宿に加えて、喫茶も始めます。
同じ読みで旧名「琥珀」から「古白」へといたします。

古材に残る白土のようでもあります。
そしてそれは同時に、時節の花「卯の花」のように
昔も今も変わらぬ新しい白のようでもあります。

どうぞ皆さま、お越しく下さいませ。
お待ち申し上げております。

古白 四月八日 開業

境 祐希
友美

古白

奈良市鳴川町10番

0742・81・4236

宿泊 全3室

喫茶 8時-10時 13時-21時半 (L.O)